

山梨県初の総合学科高校、  
夢をかなえる8系列。  
好奇心旺盛な君、可能性をひろげたい君、  
一緒に学んでみませんか？  
私たちのこと、知ってほしくて作りました。  
甲府城西高校の広報誌「KJ通信」です。

## それぞれがそれぞれの場所でできることを精一杯やる毎日 甲府城西高校生の誇り

### 今号の主な内容

- ★～特集～ 振り返る 第97回全国高等学校野球選手権山梨大会の戦績
- ★アーチェリー部 2016年日本代表メンバー入り決定
- ★文化局の成績
- ★1年次生 総合的な学習の時間の取り組み（美術館見学・卒業生による講話）

## 躍進

### 第97回全国高等学校野球選手権山梨大会準優勝!



甲府城西高校の今を伝える KJ通信です。



# ◆甲府城西高校 野球部の激闘◆

連日の猛暑に見舞われた今年の夏。野球部は私たちに大きな希望と勇気をくれました。野球部の声と写真とともに熱かった闘いを振り返ります。

- ◆7月19日 富士北稜高校戦 10対0 (6回コールド)
- ◆7月21日 吉田高校戦 5対2
- ◆7月24日 帝京第三高校戦 4対2

## 準決勝戦

- ◆7月26日 甲府工業高校戦 7対5  
初回、長澤大悟の2ランスクイズで2点先制、さらに高橋廉のタイムリーで加点。  
3回、坂上大和の2ランホームランで追加点。  
8回、9回と甲府工業に攻め込まれるが、セカンド保坂拓実のファインプレーでピンチを凌いで勝利！



## 決勝戦

- ◆7月27日 東海大甲府高校戦 3対4  
4点先制されたあとの5回表、3番大塚誠弥の3ランホームランで1点差に迫る。  
ピッチャー石原赳人、1.2.3.6.7.8回は1人もランナーを出さない力投！  
保坂拓実執念の一打！



### 主将 3年 保坂拓実

決勝9回2アウトに起きた出来事。「高めのストレートを振り抜き走る。夢中で走る。気づいたら三塁ベース上にいて自然とでたガッツポーズ。」振り返ってみるとあの打席は不思議なくらい落ち着いていました。打席に入るまでは頭の中は混乱し、悪いイメージしかわいてこなかったのです。しかし、打席に入った瞬間、迷いは消え、客席からのあの大声援も聞こえないくらい集中していました。あの出来事は奇跡です。準優勝という結果でしたが、仲間とともに闘ったこの夏の五試合は特別でした。最高でした。主将として辛く苦しいこともありましたが、この仲間とだったから乗り越えられたのです。本当に感謝します。

### 投手 3年 石原赳人

私は自分の気持ちを全面に出すことで自身を鼓舞し勝負をしてきました。追い詰められた時には帽子を脱いでスタンドを見渡します。そこには懸命に応援して下さる多くの方々の姿が見えます。「ここを抑えたら気持ちいいだろうな。」そんなことを考えながら気持ちを静め、野球を楽しむことに集中します。初めて涙があふれたのは、ベスト4に入った瞬間です。一番辛かったのは準決勝の甲府工業戦です。7回までは一失点に抑えていましたが、8回から疲れが始め打たれてしまいました。大声援に支えられ、準決勝を突破した瞬間に、「最高の舞台上で東海大甲府と戦える！」という実感がこみ上げてきました。決勝戦を終え悔しさももちろんありますが、私の胸の中は充実感でいっぱいです。甲子園のマウンドに立つことはできませんでしたが、四年後にはプロ野球選手として皆さんにその姿をご披露したいと思っています。後輩達、来年こそ甲子園へ。

### マネージャー 3年 三神玲奈

辛く厳しい練習に必死で取り組んでいる部員の姿を私達マネージャーは目の当たりにし、彼らを全力で支えてきた三年間でした。マネージャー同士で意見が食い違い、部員に迷惑をかけてしまったことがありました。しかし、何があっても「野球部全員で甲子園！」という目標を掲げ続け、この度県大会において準優勝という成績を残すことができました。「ありがとう 感謝」という言葉が私達を常に支えてくれました。この三年間で私達は本当に大きく成長しました。皆さんありがとうございました。ありがとう野球部。



## 速報！ アーチェリー部 高山 凌 2016年ナショナルチーム入り決定



11月14～15日、静岡県つま恋アーチェリー場でU-17ナショナルチーム選考会が開かれました。その大会において高山凌くんが6位に入賞し、2016年ナショナルチームのメンバーの一人となりました。高山くんの喜びの声とアーチェリーの面白さをお伝えします。

### 高山 凌

「やった！」来年度の日本代表に選ばれた瞬間、私は心の中で叫びました。そして心底安心しました。私がアーチェリーを始めたのは中学一年生の時です。競技力を高めたいと思い、高校入学後も続けています。平日は3時間ほど、休日は一日中練習に打ち込んでいます。アーチェリーは的までの距離が遠いので、矢は風の影響を受けます。矢を放つ瞬間まで風力や向きを読みます。その読みが当たり、的の真中に見事に当たった時の喜びはたえようがありません。競技をするうえで経験の有無は問いません。高校入学と同時に始めたとしても、努力次第で成果を残すことができます。今では私の生活の一部になったアーチェリー。この大会の結果に自信をもち、合宿や各大会を通じて経験を積んでいって、納得のいく闘いができるように今後も努力していきます。

## 文化局の成績

- 吹奏楽部 第55回山梨県吹奏楽コンクール 高校A 銅賞  
第36回山梨県高等学校芸術文化祭吹奏楽専門部発表会 優良賞
- 文芸部 第17回関東地区高校生文芸大会 県代表
- ワープロ・パソコン部 第62回山梨県高等学校商業実務競技大会 ワープロの部 団体第3位
- 写真部 第39回全国高等学校総合文化祭 写真部門 優秀賞 清水 佳菜  
読売新聞社賞 清水 佳菜  
文化連盟賞 清水 佳菜  
平成27年度秋季審査会 団体第6位  
入選 小澤 友美 保坂 萌絵  
佳作 伊藤 紗希 橋口 瑠花 伊部 優希
- 合唱部 第15回やまなし県民文化祭 入選 小澤 友美  
第68回全日本合唱コンクール東関東支部山梨県大会 銀賞  
第39回全国高等学校総合文化祭合唱部門 文化連盟賞
- 書道部 玄遠書道会第64回全国展 第2部推薦賞 中野 範子 小池 優香  
第2部特選賞 仲田 梨乃  
書道パフォーマンス 奨励賞



吹奏楽部



吹奏楽部



書道部



合唱部



写真部 清水 佳菜



# 〈1年次生 総合的な学習の時間の取り組み〉

芸術の秋到来。1年次生は10月16日(金)の午後、県立美術館を見学しました。ピカソ展を中心として芸術の秋を満喫しました。



## 県立美術館見学 ◇生徒の感想

ピカソの作品のなかで一番印象的だったのは、「貧しい食卓」です。描かれている人の手足が細くて、何も食べられない辛い気持ちがわかりました。ピカソは二度の大戦を経験しています。作品からは戦争に対する悲しみや苦しみが伝わってきました。

絵画を鑑賞することは、描いた人の思いと向き合うことだと思います。ミレーの「ダフニスとクロエ」が私は最も心に残りました。幻想的な世界が描かれているこの作品から、美しい場所を駆け回る子どもの姿を想像しました。絵にかける情熱を感じることができました。

11月6日(金)の午後、10名の卒業生を迎え高校時代の経験や近況について語っていただきました。四年制大学、短期大学、看護学校、各企業と幅広く活躍している卒業生の話から、1年次生は多くの刺激を受け、現在の自分のあり方について見つめ直すことができました。



## 卒業生による講話 ◇生徒の感想

先輩方のお話を聴いて皆さんが口をそろえて「勉強とコミュニケーション能力」が必要だとおっしゃっていました。言葉遣いや人間関係はどこへ行っても大切になってくることなので必ず身につけておきたいと強く思いました。また、私は苦手教科と得意教科の差が激しいので地道に努力をしようと思改めました。

毎日の努力は必ず実を結ぶとおっしゃっていた先輩の輝いた表情が印象に残っています。現実の厳しさと、夢を叶えようとする楽しさを学ぶことができました。ついだらけてしまうことがありますが、時間に余裕のある1年次のうちから真剣に頑張ろうという気持ちになりました。

## まとめ

生徒達は日々前進しています。昨日よりも今日、今日よりも明日の自分が好きになれるように、様々な活動を通じて進み続けています。



information

- 修学旅行 12月8日～12月11日
- 冬季休業 12月26日～1月6日

KJ  
通信

発行

We love Josai.

山梨県立甲府城西高等学校  
〒400-0064  
山梨県甲府市下飯田一丁目9-1  
TEL 055-223-3101  
FAX 055-223-3103  
URL <http://www.josaih.kai.ed.jp/>  
E-Mail: [josaih@kai.ed.jp](mailto:josaih@kai.ed.jp)  
発行日 平成27年12月6日

